

「学生の健康白書2010」作成のための調査実施要項 2010.8.17

1. 調査の目的

この調査は、大学における保健管理を適正に推進する上で重要な指針となる学生の健康白書を作成するために、最近の学生の健康状態の実態を的確に把握することを目的に実施する。

2. 調査の対象・実施時期

この調査は、国立大学の学部学生・大学院生を対象とし、II部および短期大学の学生は除く。実施時期は平成22年度の定期健康診断とする。

3. 調査の内容

集計するデータは、身長、体重、血圧、脈拍、胸部X線検査、生活習慣とし、各大学に調査を依頼するデータは、以下の30項目と、別紙アンケート調査とする。

1	個人の識別	1) 大学名 2) 学年制 3) 学年 4) 入学年度 5) 個人識別番号* 6) 性別 7) 生年月日 8) 留学生区分
2	身体計測	9) 身長 10) 体重
3	血圧と脈拍	11) 収縮期血圧 12) 拡張期血圧 13) 脈拍 14) 二次検査実施日 15) 二次収縮期血圧 16) 二次拡張期血圧 17) 二次脈拍
4	胸部X線検査	18) 異常の有無 19) 疑われる疾患（結核、気管支拡張症、肺炎、気胸、ブラ、その他） 20) 指導区分
5	生活習慣	21) 喫煙のたずね方 22) 喫煙 23) 飲酒のたずね方 24) 飲酒 25) 運動のたずね方 26) 運動 27) 睡眠時間 28) 朝食摂取の有無
6	その他**	29) 体脂肪 30) 腹囲

*個人識別番号はデータ送付時に削除してください。

**その他の項目は実施大学のみ記入してください。

4. 調査の原則

全国の大学がマニュアルに従って、可能な限り同じ方法で調査を行うことを原則とする。できるだけ多数の学生が受診することが望ましいので、特に2～3年（回）生（6年制では2～5年生）の受診率を高めるよう配慮する。

5. データ処理・データ管理など

各大学のデータは電子媒体またはe-mailで京都大学へ送る。なお、データはtext fileなどの変換可能なファイルに電子化されたものであれば、独自のものでも可である。

京都大学へ送るフロッピーディスク（FD）や光磁気ディスク（MO）は、コピーを作って、必ず手許に保存しておく。

集計用のファイルを入れたFDまたはMOを希望する大学へは、名古屋大学から別途送付する。

京都大学へ送られてきたFDやMOは、要望があれば、電算終了後返却する。

全国から送られてきたデータは施設協議会が管理する。

白書用のデータ使用を希望する大学は所定の取扱い手続きを行えば原則としてどの大学も使用でき

る。

資料の取扱い手続きは「学生の健康白書1995」による。

定期健康診断の調査項目と方法

I 健康診断の対象学生数に関する調査（後日）

対象学生数は平成22年5月1日現在の学部在籍者数とし、休学者、国内・国外への留学者は除きます。

入学年度別、性別の対象学生数を4年制学部と6年制学部（医学部、歯学部、獣医学科など）に分けて別紙（後日配布）に記入してください。

II 調査項目記入要領

A 共通項目

1. 実施していない項目は、空欄
2. 実施項目で未受診は、「9（1桁）」を記入
3. 一部の学生にのみ検査を実施している場合
 - 1) 対象者で未受診は、「9（1桁）」を記入
 - 2) 対象外の学生は、「0（1桁）」を記入

B 記入項目

1. 個人の識別

大学名 京都大学で記入します。

大学コード 京都大学で記入します。

学年制 4年制（4）か6年制（6）かを記入して下さい。大学院生の場合は1を記入します。

学年／入学年度

学年及び入学年度を記入して下さい。

4年制学部では1～4、6年制学部（医学部、歯学部、薬学部、獣医学科など）では1～6を記入して下さい。留年の有無に関わらず、現在の学年を入れて下さい。学年制でない大学もありますので、入学年度も必ず記入して下さい。

大学院生の場合も学部学生に準じて記入して下さい。

個人識別番号

個人識別番号はデータ送付時に消去して下さい。

データについて照会した場合に回答できるよう、送付したデータはそのままの形で保存しておいて下さい。

性別 男性は1、女性は2を記入して下さい。

生年月日

西暦の下位2桁の数字で記入して下さい。「日」の部分は、すべて「01」と記入しても構いません。また、「年」「月」「日」をくっつけて「年」の欄に記入しても構いません（その場合は、月・日の欄は空欄として下さい）。

（例）1975年3月30日の場合、750330と記入します。

留学生区分 留学生は1を記入、非留学生は2を記入して下さい。

2. 身体計測

身長 測定値は実測値を小数第一位まで記入して下さい。

体重 測定値は実測値を小数第一位まで記入して下さい。

3. 血圧と脈拍

血圧はできるだけ静かな、適温（20℃前後）の部屋で測定し、運動直後は避けるようにします。体位は座位、腕を圧迫する衣服は脱衣してもらい、右上腕で測定します。

収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍数を記入して下さい。

一次検査で血圧が高い場合は2回以上測定することが一般的です。このため、収縮期血圧の139と140、拡張期血圧の89と90で、集計値の分布に大きな段差が見られます。これをなくすため、明らかな測定エラーでない限り最初の測定値を記入して下さい。一次検査で複数回測定した場合は、第1回目の測定値を一次検査の欄に記入して下さい。一次検査の2回目以降の値は二次検査として記入して下さい。

ただし、後日二次検査を行った場合はどちらかの値を二次検査として記入し、当日・別日の区別を記入して下さい。当日は1、別日は2です。

脈拍数は自動血圧計などで測定されている場合にはできるだけ記入して下さい。

4. 胸部X線検査

肺結核および気胸については、後日改めて詳しい調査を行う予定です。

今回の調査では健康診断での結果を記入していただきます。

異常の有無では、異常なしが1、ありが2です。未受診は9、対象外は0を記入してください。

異常ありの場合は次の疑われる疾患を記入してください。

疑われる疾患は、結核、気管支拡張症、肺炎、気胸、ブラ、その他です。それぞれ、なしが記入なし、ありが2です。

指導区分では、放置可が1、要観察が2、要精査が3、要医療が4です。**胸部X線に異常所見がない場合の指導区分欄は空欄でも構いません。**

5. 生活習慣

他の項目とリンクした形での生活習慣調査です。

喫煙（習慣的な喫煙）は現在の喫煙の有無のみを尋ねる大学は1を記入、選択肢は「喫煙する」が1、「喫煙しない」が2、現在の喫煙頻度も尋ねる大学は2を記入後、選択肢は「毎日喫煙する」が1、「時々喫煙する」が2、「喫煙しない」が3、過去の喫煙も尋ねる大学は3を記入後、「現在喫煙している」が1、「以前喫煙していた」が2、「以前より喫煙していない」が3を記入します。

飲酒は現在の飲酒の有無のみを尋ねる大学は1を記入、選択肢は「飲酒する」が1、「（ほとんど）飲酒しない」が2、現在の飲酒頻度も尋ねる大学は2を記入、選択肢は「毎日飲酒する」が1、「時々飲酒する」が2、「（ほとんど）飲酒しない」が3を記入します。

運動は現在の運動の有無のみを尋ねる大学は1を記入、選択肢は「運動する」が1、「（ほとんど）運動しない」が2、現在の運動頻度も尋ねる大学は2を記入、選択肢は「毎日運動する」が1、「時々運動する」が2、「（ほとんど）運動しない」が3を記入します。

睡眠時間は小数以下を切り捨てた時間数で記入してください。

朝食の有無を記入してください。朝食を毎日摂取するは1、時々摂取は2、摂取しないは3を記入してください。

データの送付先：京都大学保健管理センター（担当：後藤雅史）hoken-project@umin.ac.jp